

1. 実証実験の概要

(1) 実施概要

実験名称：駅前大通WALK AROUND

実験期間：2023年10月27日(金)～11月5日(日) 計10日間

実施場所：駅前大通りの歩道空間（豊橋駅前交差点～新川交差点区間）



メインビジュアル

(2) 取組内容と目的

憩いの場・滞留スペースの創出 【グリーンデッキ1・2/店舗前テラス】	▶滞在環境の向上による歩行者の行動変化等の検証 ▶沿道施設や通行への影響等の把握 ▶歩道空間利活用の実装に向けた課題・ニーズの抽出
心地よい景観の創出 【換気塔・地上機器の修景】 【ライトアップによる夜間景観の実証】	▶道路附属物の修景による居心地のよい空間の実証 ▶滞在空間の設置や展開される活動による通りや風景の変化 ▶現在の歩道空間に対する意見やニーズの抽出
にぎわいの創出 【ランチモール/ミニグリーンマーケット】 【デジタルスタンプラリー】	▶歩道空間を活用した日常的な賑わい創出の試行 ▶公共空間を活用した商機会の可能性検証



2. 沿道地権者や地元関係者との協働

▶ 実証実験を契機とした沿道地権者の巻き込みと将来整備に向けた機運の醸成を目的に、地元関係者等との協働プログラムの企画・実施を行った。

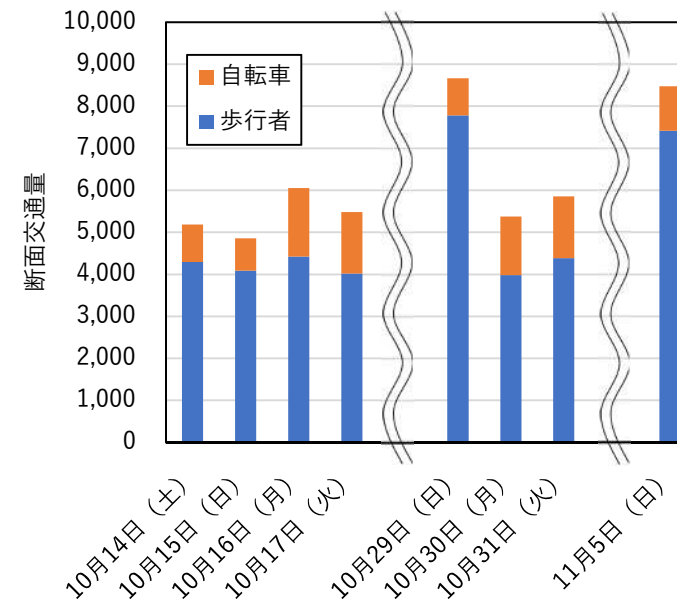
- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| ① 実証実験ポスターの掲示 (沿道店舗) | ④ 連携割引サービスの実施 (emCAMPUSカフェ) |
| ② 一斉清掃活動 (沿道店舗/まちなか未来会議) | ⑤ パンフレットへの情報掲載 (周辺イベント) |
| ③ 植栽協力 (川西種苗店) | ⑥ 什器制作、未来マップ (豊橋技術科学大学) |



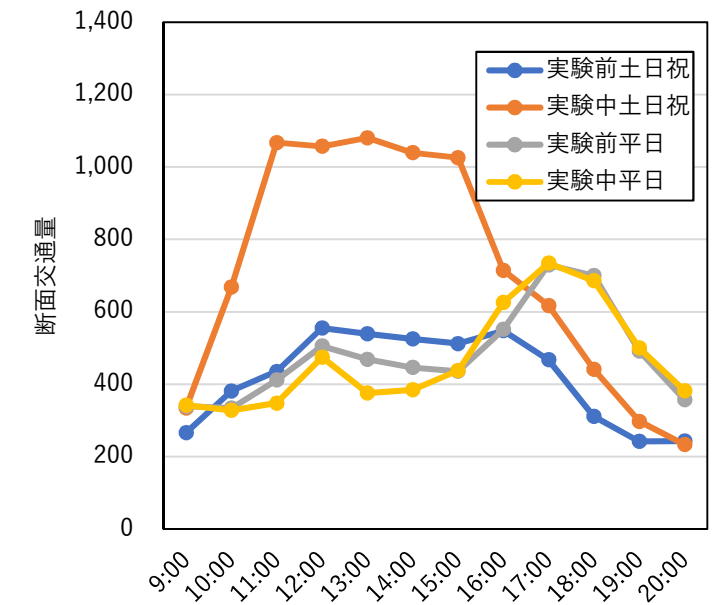
3. 調査・効果検証の概要

(1) 通行量調査

- ▶ 実証実験期間中はイベント開催なども相まって、特に日曜日の増加が顕著であった。
- ▶ また、交通量のピークは実験期間の有無に関わらず、土日祝は12時から16時頃にかけて、平日は帰宅ラッシュの17時から18時頃にかけて発生することが確認された。



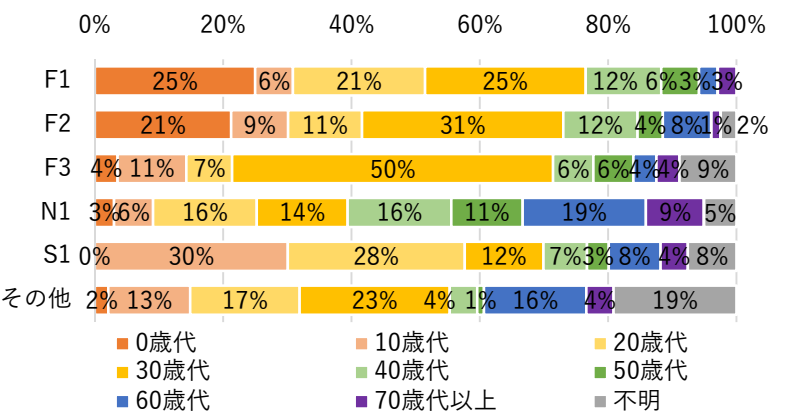
駅前大通り (南北合計) 歩行者数の日変動



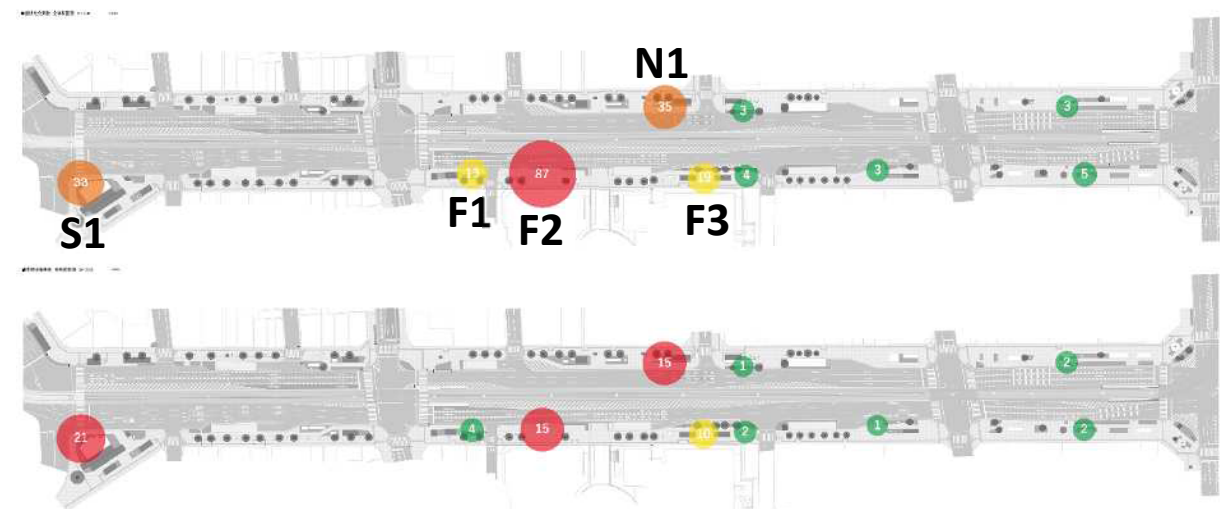
駅前大通り (南北合計) 歩行者数の時間変動

(2) 滞在行動調査

- ▶ 平日と休日の利用分布の傾向に大きな差はないものの、F2は休日の利用が多い。
- ▶ 新設の滞在空間 (F1～F3) は10代未満と20～30歳代の利用が多く、子供連れによる利用が特徴的であった。
- ▶ 一方、既存のベンチのS1 (豊橋駅前) は学生をはじめとした若年層の利用が多く、バス停のN1は高齢層の利用が多い傾向が明らかとなった。



利用者の年代構成 (ベンチ別)



ベンチ別日利用者数：(上) 休日平均、(下) 平日平均

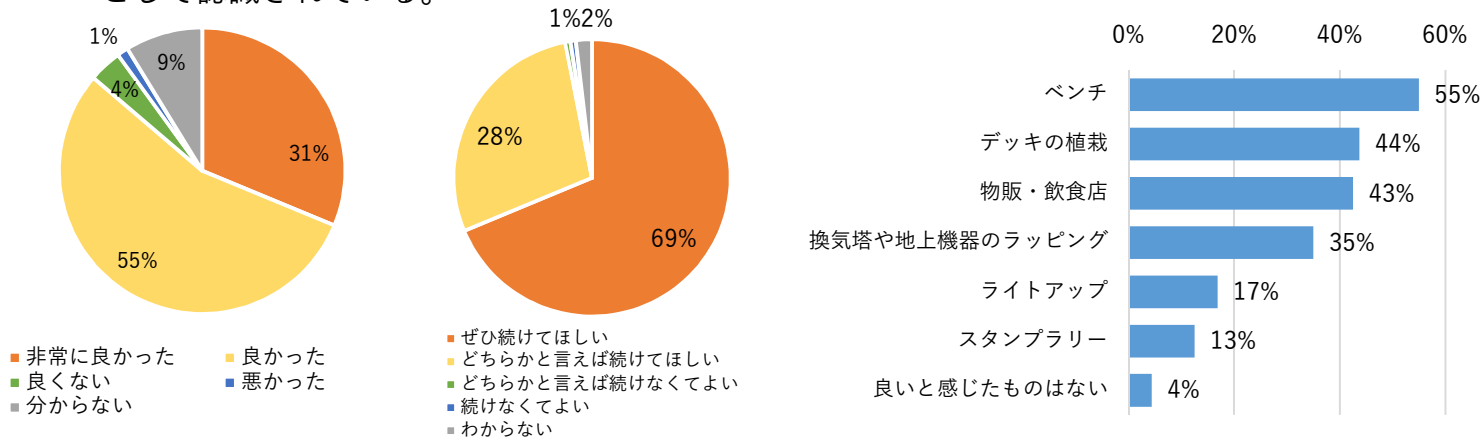
(3) 歩行者向けアンケート調査

① 実証実験に対する評価

➢ 実証実験への印象として、8割以上が高評価と回答しており、取組の内容としてベンチやデッキの植栽等の滞在空間を評価している。また今後の継続意向についても9割以上が継続を望んでいる。

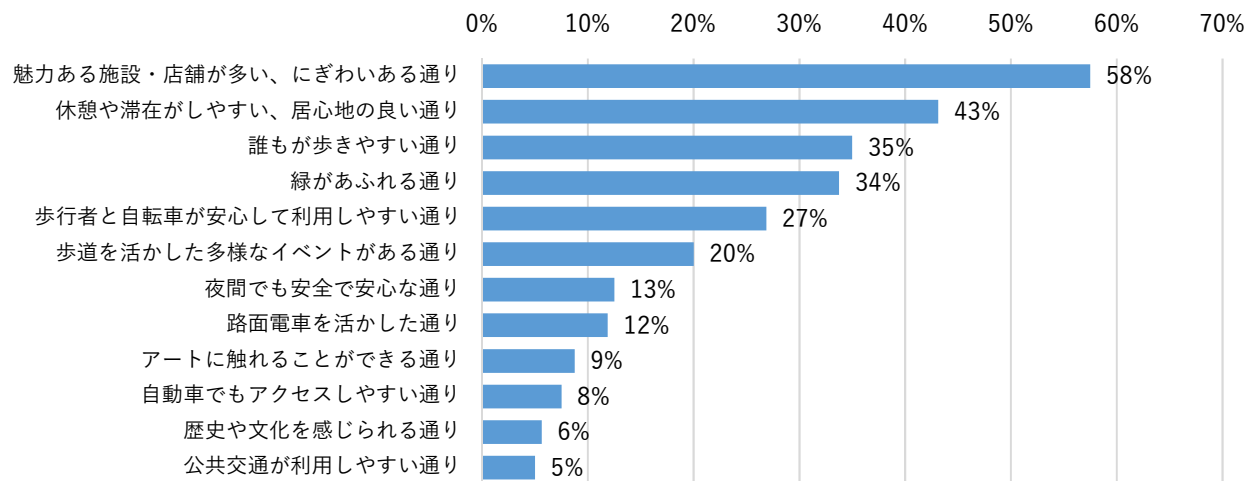
② 駅前大通りの整備ニーズ

➢ 駅前大通りに望むイメージや印象として、魅力的な施設や店舗の集積による賑わいある通りが最も多く、次いで居心地の良さや歩きやすさといった快適性を求める意見が確認された。
 ➢ 駅前大通りらしい風景や物については、実証実験の取組やemCAMPUS前の舗装等が評価される一方で、街路樹の並木や沿道店舗の建物など、通りの風景を印象付ける要素も駅前大通りらしさとして認識されている。

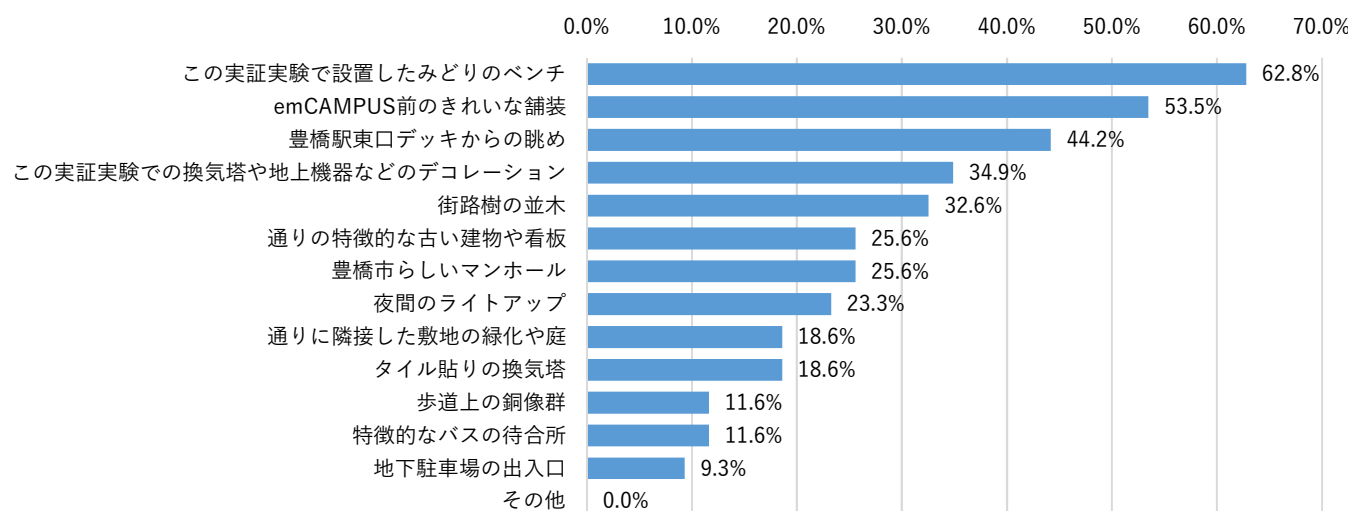


(左) 実証実験の印象、(右) 実証実験の継続意向

実証実験でよいと感じた取組



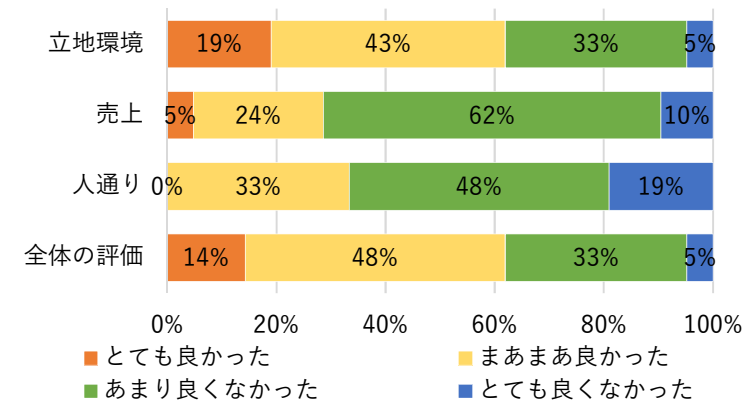
駅前大通りがどんな通りになってほしいか



駅前大通りらしい風景や物（デジタルスタンプラリー）

(4) 出店者向けアンケート調査

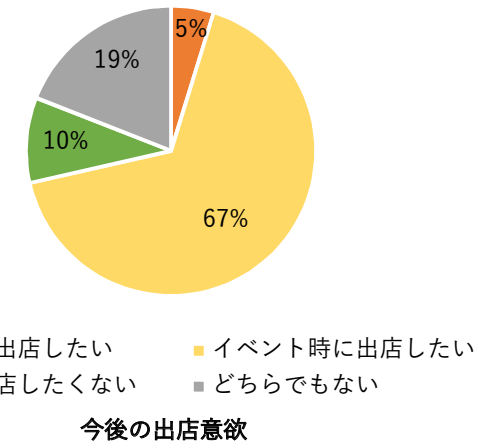
➢ 実証実験への評価として、売上や人通りは厳しい評価結果となった。一方で、立地環境は半数以上が高評価と回答しており、今後の出店意向についてもイベント時の出店希望が67%を占めている。



実証実験に対する評価

【必要な環境・設備等（抜粋）】

- ・歩行者と自転車が錯綜するため、安全対策が必要。
- ・お客様の駐車料金が心苦しい。
- ・出店者数の増加や宣伝の強化が必要。
- ・防風・防寒対策、目印の設置、集客の確保施策が必要。
- ・環境向上（子供向けスペースやフォトスポット）、夕方の照明が必要。



今後の出店意向

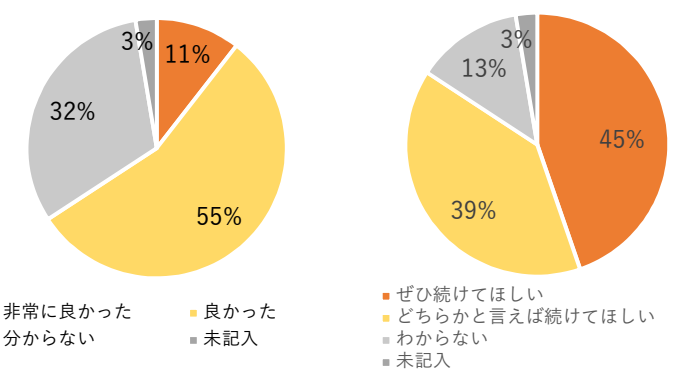
- ・土曜日であっても人通りが少ないと感じる。
- ・安定した電源を提供してほしい。
- ・キッチンカーで参加させてほしい。

(5) 沿道施設向けアンケート調査

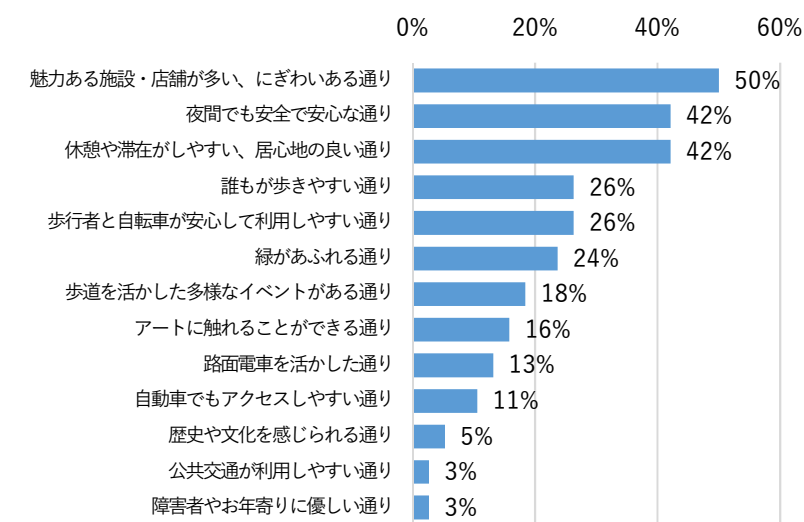
➢ 実証実験への評価として、6割以上が高評価である一方で、「分からない」が3割以上となっており、積極的な周知や巻き込みや重要である。

➢ 駅前大通りに望むイメージや印象としては、歩行者向け調査と同様、にぎわいが最も多いものの、安全性や居心地など沿道ならではの視点からの意見も確認された。

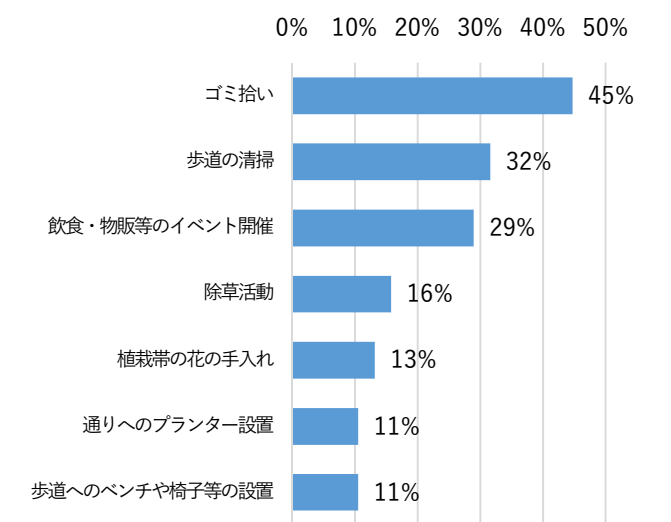
➢ 協力できる活動としては、ゴミ拾いや歩道の清掃のほか、イベント開催などが多く回答されている。



(左) 実証実験の印象、(右) 実証実験の継続意向



駅前大通りがどんな通りになってほしいか



協力できる活動